

校長室だより

万人の福祉のために
真実と慈愛と献身を



日本福祉大学付属高校 2020年4月21日

生徒の皆さんへのメッセージです

晴れ渡る校舎に響くチャイムの音 誰に告げるや主居ぬ春

皆さん、元気で過ごしていますか。今の私の思いを短歌で表現しました。(今やチャイムもありません) 4月も下旬となりました。振り返ってみると、6日の入学式は規模を縮小してなんとか実施しましたが、翌7日から休校に入り、学年ごとに休校日を設定し、放送で始業式や課題の連絡を行ってきました。20日からの再開を期待しましたが、叶わず、さらに5月の連休明けまで休校が延長されることとなりました。新年度になって全校の生徒が一堂に会する機会はまだ一度もありません。つまり1年生が2,3年生に会う機会は(当然ですがまたその反対も)未だ持っていません。このような「異常」な状態は、私の教員生活でももちろん初めてのことで、日本全国のほとんどの学校が同じような状況なのでしょう。

例年この時期は、本校恒例の新生歓迎「もちつき大会」、中庭では和太鼓やダンス部などが歓迎のパフォーマンスを行い、華やいだ雰囲気为学校に満ち溢れていました。今年は新生にそういう体験や雰囲気を味わせてあげられず、残念な気持ちで一杯です。また部活動もストップしたままで、期待している諸君には申し訳ない思いです。



しかし、生徒会長が代表して入学式で挨拶をしてくれましたが、その場(過去の新生歓迎会の様子)いなくとも心はつながっています。「あせらず・あわてず・あきらめず」家庭でできることにとりくみ、再開(再会)できる日に備えてください。

○時間割に沿って学習を

家庭での学習は進んでいますか。先週の休校日でそれぞれの学年・コースに応じた課題と学習の方法が提示されました。今回は3月の休校時のものとは位置づけが異なっています。基本的には学校で授業を受けているのと同じ時間割で、また教科書に沿った内容のものを毎日学習するというものです。教科の中には、授業の様子を動画にして配信しているものもあります。私達教員にとっても初めての経験であり、悪戦苦闘しながらとりくんでいます。また皆さんから提出された課題はていねいに点検して、皆さんの家庭学習を全力でサポートしています。

○ピンチをチャンスに

最後に私からアドバイス。学校に行けず外出もできず不自由な生活が強いられていますが、この期間をマイナス志向ではなく、プラス志向でとらえてはどうでしょう。普段なかなかできないことにとりくむなど。例えば、じっくり読書・英単語を覚える・ラジオ英会話を聴く・苦手な教科にとりくむなど。まとまった時間が取れることを活かし、自分を伸ばす機会にしてもらいたいと思います。

今は”Stay Home”で乗り切ってください。皆さんが感染しないことが家族や仲間を守ることになります。「止まない雨はない、明けない夜はない」(Yoshikiさん)皆さんに会える日を待っています。(岩本)

＝この1冊＝

「16歳のデモクラシー」(佐藤 優)晶文社

佐藤氏が埼玉県の高校2年生に講義したもの。使用テキストは「光の子と闇の子」。(ラインホルド・ニーバー著)副題で「受験勉強で身につけるリベラルアーツ」とあります。

かなり難解な内容で、しかも英語で読むというものです。「自分の力より2割ほど負荷がかかるような形で勉強しておく、必ずそれに追いつく。今わかるレベルに落としてしまうと、それ以上伸びないからね。」「学校の勉強、それに積み重ねてやる受験勉強は、実は社会に出てから意外と役に立つんです。」と著者。全部はわからなくても得るものはあるはず。